

## 労働安全衛生法違反被疑事件を書類送検

### －（造材作業をさせる際に木材の転落等を防止する措置を行わなかった疑い）－

白河労働基準監督署（署長 森合 吉徳）は、本日、下記のとおり労働安全衛生法違反被疑事件を、福島地方検察庁郡山支部に書類送検した。

#### 記

#### 1 被疑者

##### （１）有限会社県南総美

本店所在地：福島県西白河郡西郷村大字小田倉字上川向 50 番地

事業内容：造園及び清掃業

##### （２）同社 代表取締役 A（45 歳・男性）

#### 2 事件の概要

令和5年1月23日、福島県白河市東釜子地内に所在する小学校の敷地内において、危険木の伐倒作業中、有限会社県南総美（以下「被疑会社」という。）の労働者Bが、伐倒した木の幹をチェーンソーを用いて玉切り（※）しようとしたところ、当該伐倒木が傾斜地等のため自重により回転するように滑り、労働者Bに激突して死亡するという労働災害が発生した。

本件労働災害に関し、被疑会社の代表取締役で現場責任者のAは、転落し、又は滑ることにより、作業に従事する労働者に危険を及ぼすおそれのある伐倒木について、くい止め、歯止め等これらの木材が転落し、又は滑ることによる危険を防止するための措置を当該作業に従事する労働者Bに講じさせなければならなかったのに、これを行わなかった疑いがあるもの。

（※）玉切りとは、伐倒木の樹幹を、適当な長さに切断する作業をいう。

#### 3 罪名・罰条

有限会社県南総美及び代表取締役Aについて

労働安全衛生法違反

同法第21条第1項（事業者の講ずべき措置等）

労働安全衛生規則第480条第1項（造材作業における危険の防止）

同法第119条第1号（罰条）

同法第122条（両罰規定）

#### 4 参考資料

資料1 関係法令

資料2 災害発生状況図

## 関係法令

### ○労働安全衛生法

(事業者の講ずべき措置等)

第 21 条 事業者は、掘削、採石、荷役、伐木等の業務における作業方法から生ずる危険を防止するため必要な措置を講じなければならない。

※第 2 項は省略

(罰則)

第 119 条 次の各号のいずれかに該当する者は、6 月以下の懲役又は 50 万円以下の罰金に処する。

- 一 第 14 条、第 20 条から第 25 条まで、第 25 条の 2 第 1 項、第 30 条の 3 第 1 項若しくは第 4 項、第 31 条第 1 項、第 31 条の 2、第 33 条第 1 項若しくは第 2 項、第 34 条、第 35 条、第 38 条第 1 項、第 40 条第 1 項、第 42 条、第 43 条、第 44 条第 6 項、第 44 条の 2 第 7 項、第 56 条第 3 項若しくは第 4 項、第 57 条の 4 第 5 項、第 57 条の 5 第 5 項、第 59 条第 3 項、第 61 条第 1 項、第 65 条第 1 項、第 65 条の 4、第 68 条、第 89 条第 5 項(第 89 条の 2 第 2 項において準用する場合を含む。)、第 97 条第 2 項、第 105 条又は第 108 条の 2 第 4 項の規定に違反した者

※第 2 号から第 4 号は省略

(罰則)

第 122 条 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関して、第 116 条、第 117 条、第 119 条又は第 120 条の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対しても、各本条の罰金刑を科する。

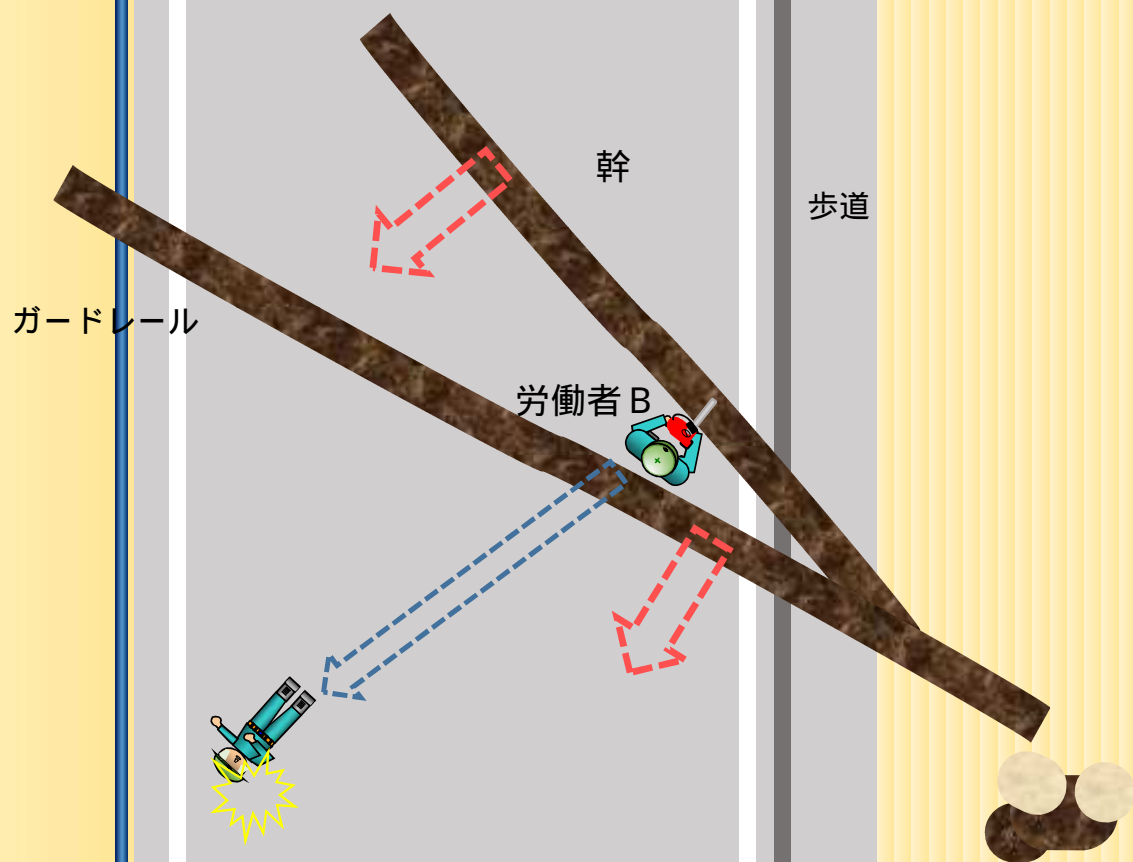
### ○労働安全衛生規則

(造材作業における危険の防止)

第 480 条 事業者は、造材の作業(伐木等機械による作業を除く。以下同じ。)を行うときは、転落し、又は滑ることにより、当該作業に従事する労働者に危険を及ぼすおそれのある伐倒木、玉切材、枯損木等の木材について、当該作業に従事する労働者に、くい止め、歯止め等これらの木材が転落し、又は滑ることによる危険を防止するための措置を講じさせなければならない。

※第 2 項は省略

資料2 災害発生状況図（災害発生時）



災害発生状況図（災害発生直後）

ガードレール

歩道  
縁石

